



今月の題字

坂本 迅くん
(荒川小3年)

町のあだこ

大浦小でサケの日給食会 サケってとってもおいしいね

秋サケを使った「サケの日給食会」が11月11日、大浦小学校（高橋澄夫校長、児童38人）で開かれました。同日が「鮭の日」であることにちなみ行われたもので、各学級でテーブルを囲みながらサケ給食を味わいました。この日の献立は、サケの包み揚げや南蛮サラダなどのメニュー。カリッと揚げた中にふんわりとしたサケの身がつまった一品に、児童らは「サケってとってもおいしいね」と会話を弾ませながら旬の食材を堪能していました。



山田幼稚園が防火パレード みんなで元気に「火の用心」

山田幼稚園（佐々木美賀子園長、園児43人）の園児らが秋の火災予防運動最終日の11月15日、長崎地区で防火パレードを行いました。消防署のポンプ車に続いて、法被をまとった園児らは太鼓や拍子木を手にし「火の用心、お出かけ前に火の点検」と火災予防を呼びかけ、行進しました。また、長崎四丁目の仮設団地に訪れ、一軒一軒に「けしたはず きめつけないで もういちど」と全国統一防火標語が書かれた手作り壁掛けを配布。なかよし公園商店街ではソーラン節を披露するなど園児らの元気いっぱいな姿に、住民からは笑顔がこぼれていました。

山田中吹奏楽部が善意を届ける 車いす4台を町に寄贈

11月16日、山田中吹奏楽部（木戸脇瑠南部長、部員44人）の生徒3人が役場を訪れ、町に車いす4台を寄贈しました。これは10月16日に行われた第15回チャリティーコンサートで集めた募金で購入したもので、部長の木戸脇瑠南さん（3年）、副部長の今野真優さん（同）、佐々木沙和子（同）さんから沼崎喜一町長に車いすが手渡されました。同部では、部活動を通じた福祉への取り組みが伝統となっています。震災により車いすが不足していることを聞き、町のために自分たちができることを行おうと、コンサートで集った募金の全額を車いす購入にあてて町の福祉向上へと力を注ぎました。

